

# 安全で正確な人工関節置換術を行っています

整形外科主任医長 藤原 勇輝



兵庫医科大学卒業後、明和病院での臨床研修を経て兵庫医科大学病院整形外科に入局。医局関連施設で人工関節技術を研さんした後、兵庫医科大学で人工股関節置換術のインプラント設置研究で学位取得。今年から現職で専門は人工関節。医学博士、日本整形外科学会専門医、日本股関節学会評議委員。

## Q.1 人工関節置換術について教えてください

加齢で股関節や膝関節の軟骨がすり減り、骨同士が直接こすれることで痛みや炎症が生じる病気を変形性関節症と言います。日常生活に支障をきたす場合には、関節の表面を取り除いて、人工関節に置き換える人工関節置換術を行います。関節リウマチや大腿骨頭壊死症などの病気にも、この手術を行うことがあります。



人工関節に置き換えた股関節のレントゲン写真

## Q.2 人工物を体内に入れても大丈夫ですか？

人工関節手術で体内に入れるものをインプラントと呼びます。素材は主に金属とポリエチレン、セラミックで、体内に入れても問題ありません。MRIの撮影も可能です。

また、インプラントを入れてから10年経過した人の95%、20年経過した人の90%以上が引き続き使用しており、耐久性にも非常に優れています。

## Q.3 人工関節を入れるためにどんな手術の方法がありますか？

最近の主流は、できる限り筋肉を切らずに人工関節を入れる低侵襲手術や、術前のシミュレーション通りに手術が行えるようにナビゲーションシステムを用いた手術、そしてロボット手術です。当院は、低侵襲手術とナビゲーションシステムを用いた手術を行っています。

低侵襲手術は術後の筋力回復が早く、リハビリをスムーズに行うことができます。一方で、従来の筋肉を一部切ってしまう手術に比べて、手術中の視野が狭くなるため技術を要します。

ナビゲーションシステムはインプラントの設置角度をミリ単位で正確に見極めることができます。人工関節は、インプラントを正しい位置、正しい向きに挿入することが長持ちに繋がります。

## Q.4 最後に一言お願いします

ナビゲーションシステムは高価なため、まだあまり普及していませんが、当院ではシステムを用いた手術の症例を積み重ねており、人工関節手術をより正確かつ安全に行うことができます。まずはかかりつけ医にご相談の上、紹介状を持って当院を受診してください※。

※紹介状がなくても当院を受診できますが、初診時選定療養費がかかる場合があります。